



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

東京規約とは？

高等教育におけるモビリティと国際化の新時代

ユネスコ・アジア太平洋地域教育事務所

所長 青柳 茂

講演の流れ

- I 高等教育におけるモビリティと資格承認-アジア太平洋地域と世界の現状
- II 東京規約の背景
- III 東京規約の課題と可能性
- IV ユネスコの関連事業と展望
- V 情報センターへの期待とアジア太平洋地域ネットワーク
- VI 結び

I.

高等教育におけるモビリティと資格承認 - アジア太平洋地域と世界の現状



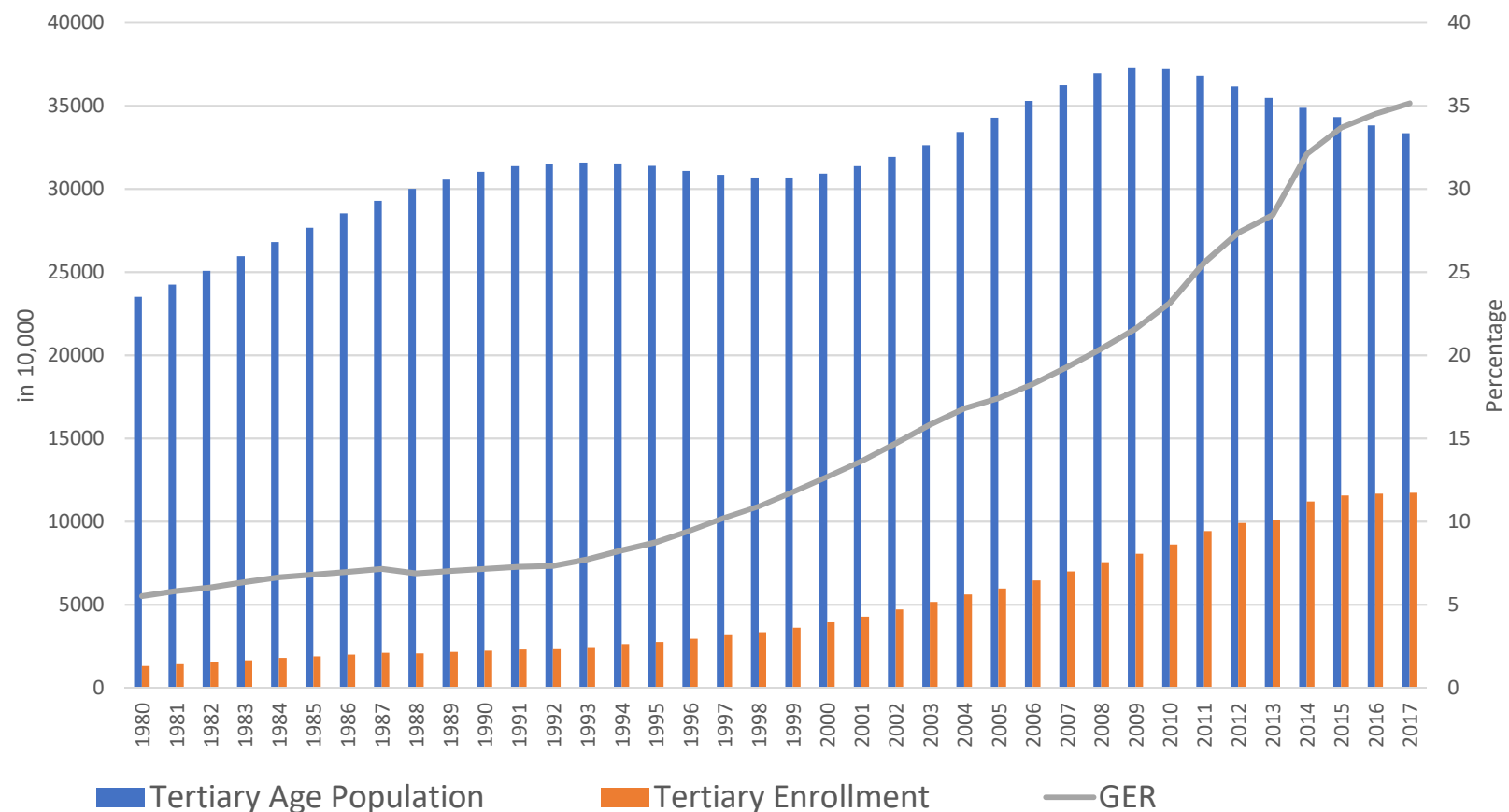
UNESCO

Opening Ceremony - Establishment of the National Information Center for Academic Recognition in Japan

Education
2030 

モビリティと資格承認の現状

アジア太平洋地域での高等教育の拡大



高等教育就学齢人口（年間の平均増加率） = 2.17%

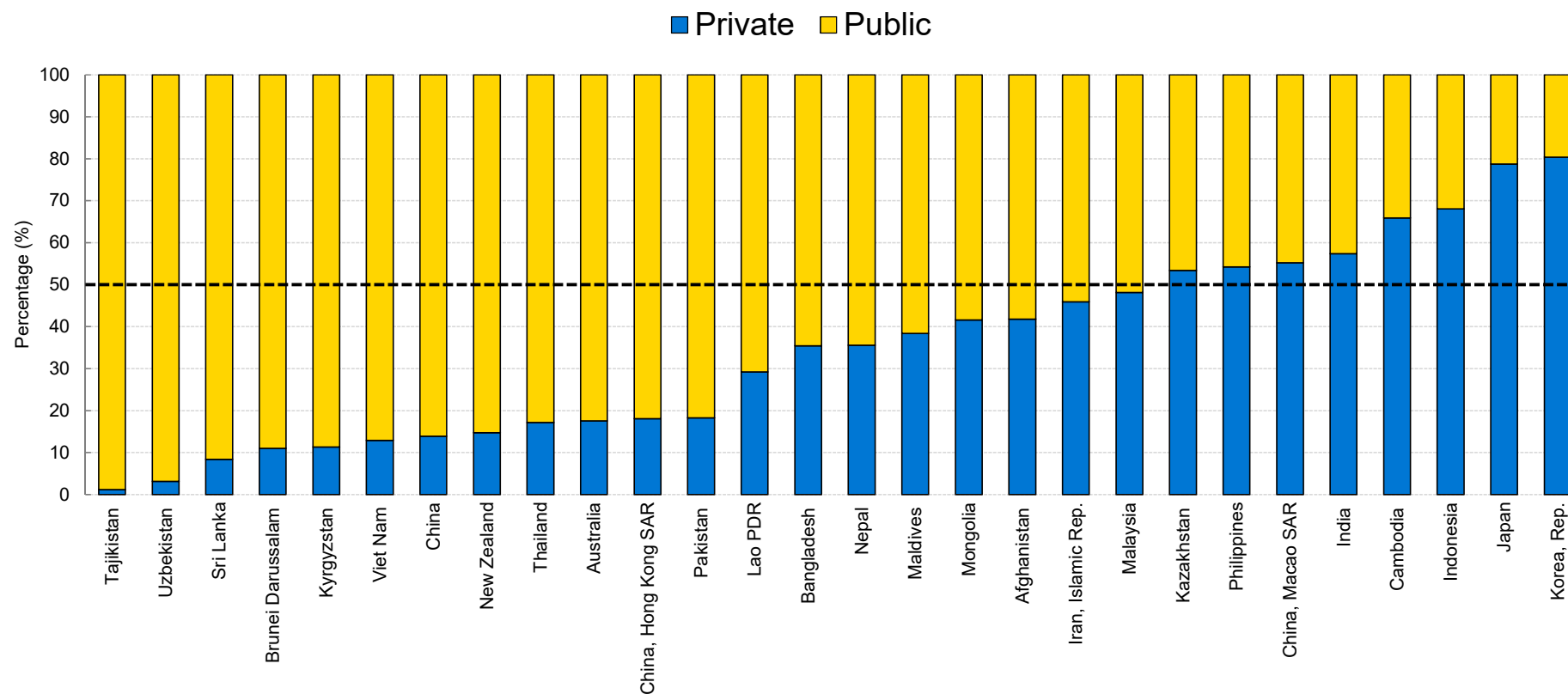
高等教育就学数（年間の平均増加率） = 13.8%

Source: UIS

モビリティと資格承認の現状

ア太地域での私学の役割の急増:

公立/私立高等教育機関への就学状況
(2016年あるいはそれ以前の最新データ)

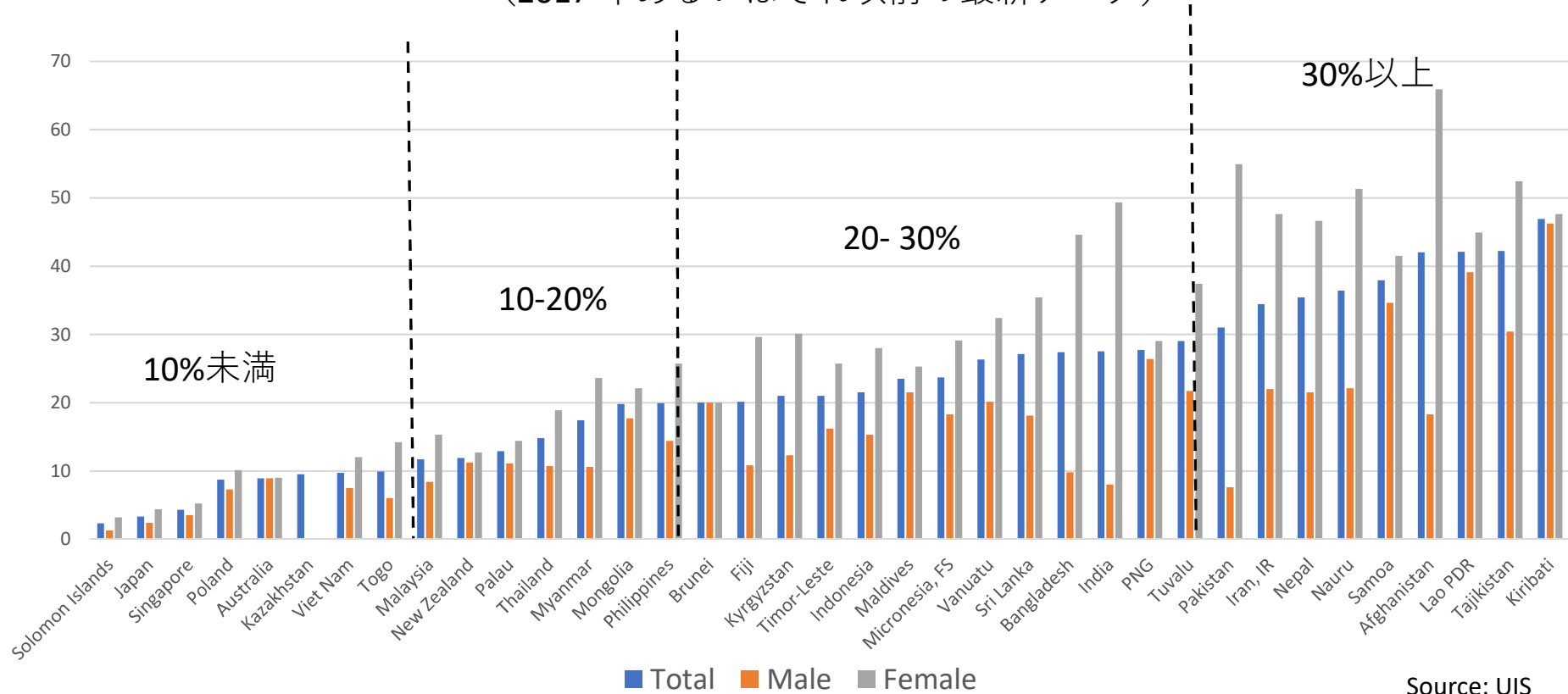


SDG4 Baseline report, UNESCO Bangkok, 2018

モビリティと資格承認の現状

ア太地域の膨大な数の青年層（15-24歳）が非就学

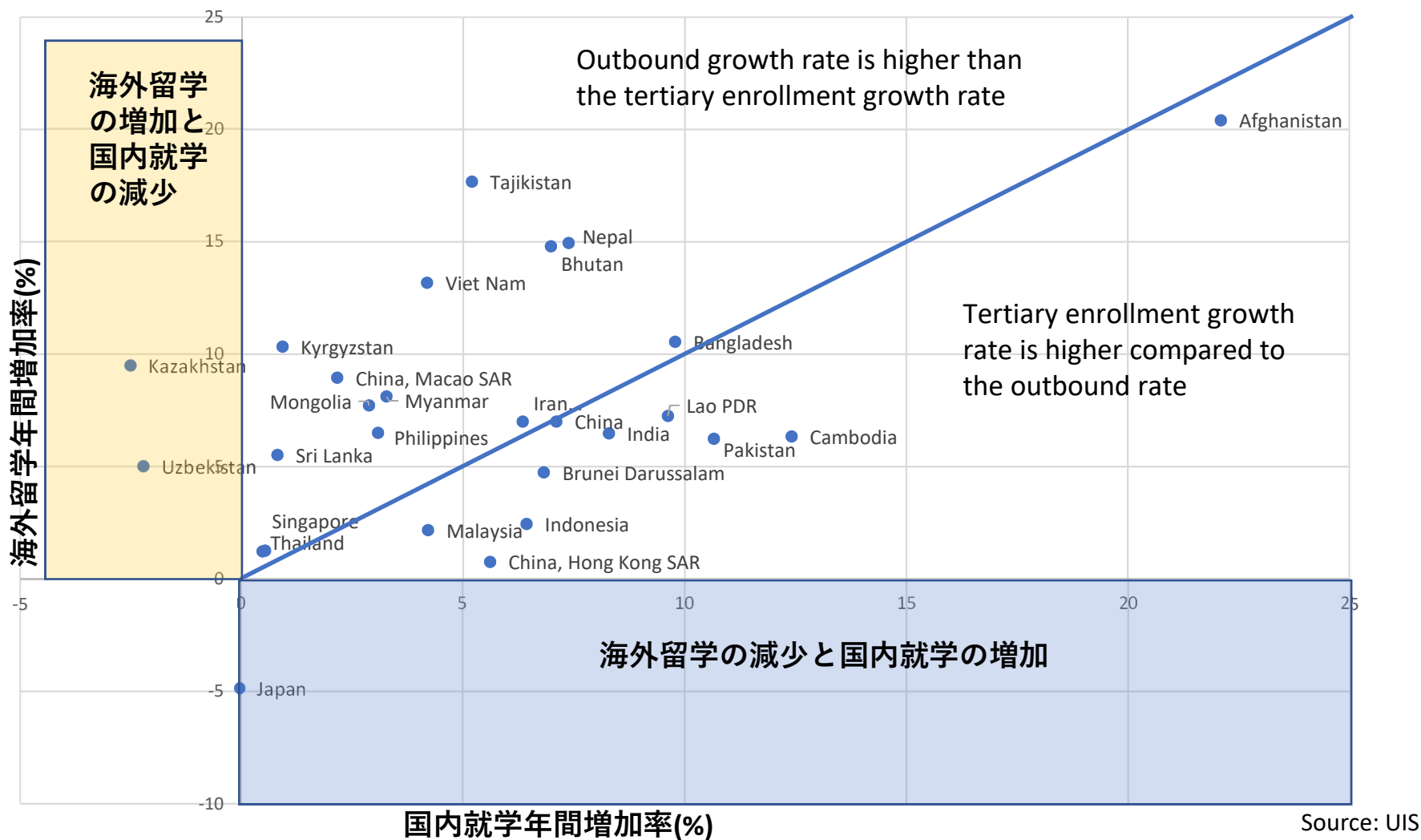
非就学/非就労の青年層 (15-24歳) の割合
(2017年あるいはそれ以前の最新データ)



Source: UIS

モビリティと資格承認の現状

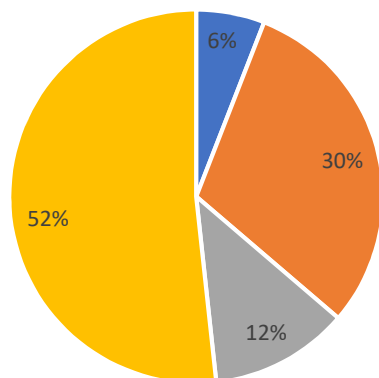
ア太地域各国の海外留学と国内就学（年間増加率）



モビリティと資格承認の現状

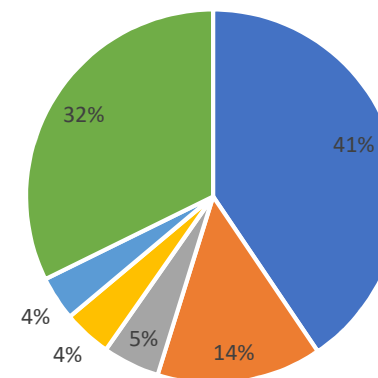
海外に留学する学生の地域別の割合

世界の約半数の海外留学生はア太地域発



■ Central Asia ■ East Asia and the Pacific ■ South and West Asia ■ Rest of the world

ア太地域の海外留学数(outbound)トップ5国

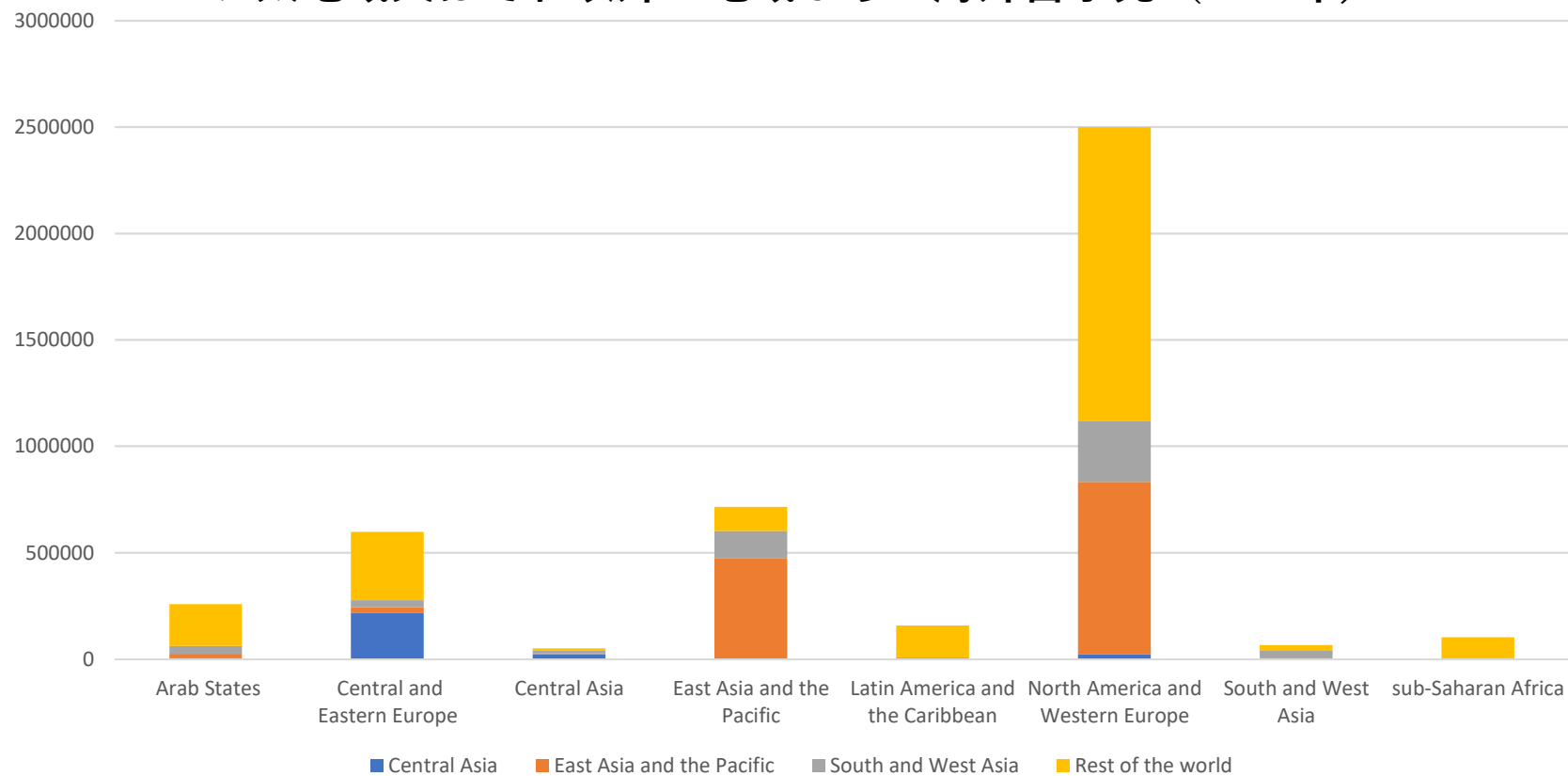


■ China ■ India ■ ROK ■ Kazakhstan ■ Viet Nam ■ Rest of the Region

Source: UIS

モビリティと資格承認の現状

ア太地域又はそれ以外の地域からの海外留学先（2017年）



Source: UIS

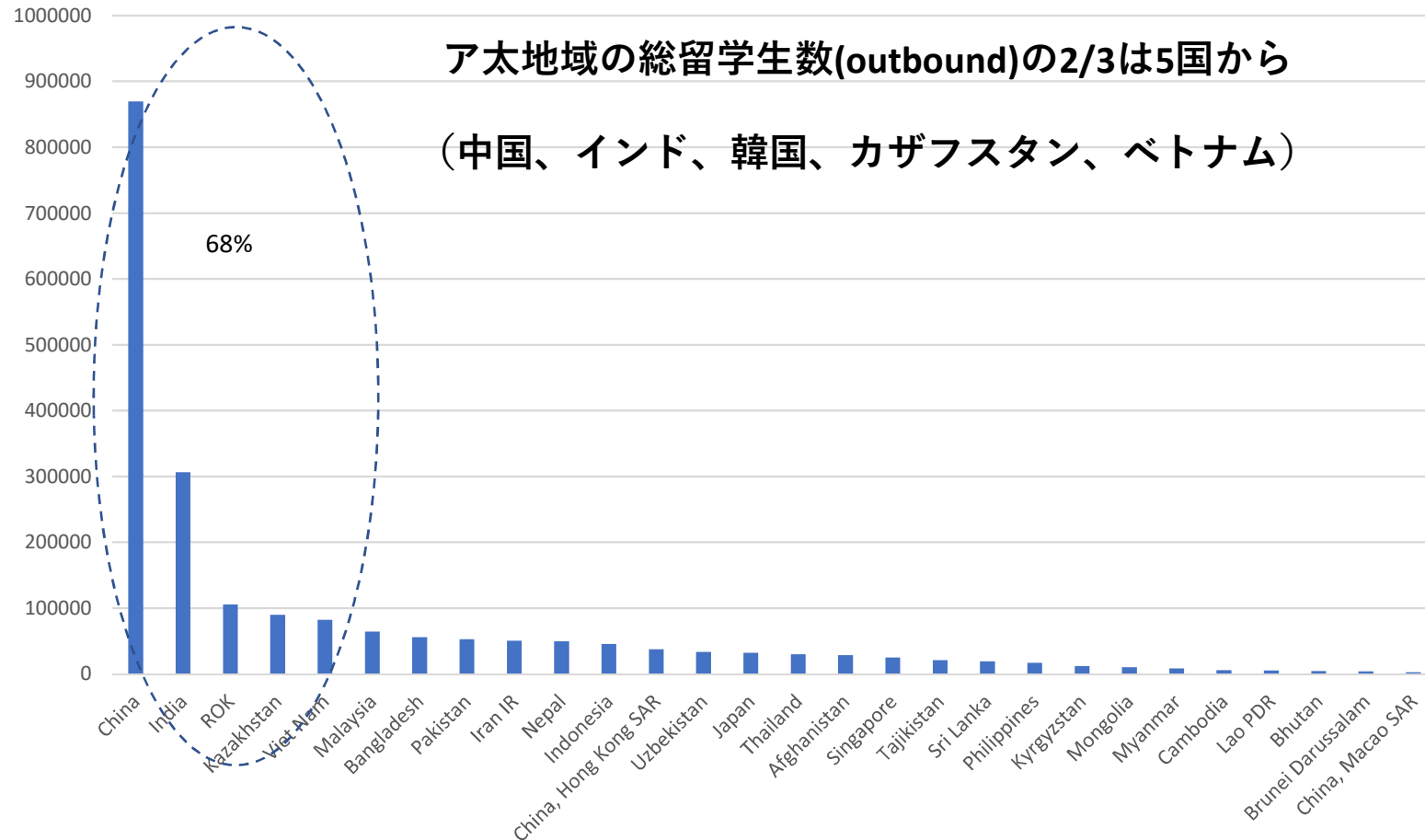


UNESCO

Opening Ceremony - Establishment of the National Information Center for Academic Recognition in Japan



モビリティと資格承認の現状



Source: UIS

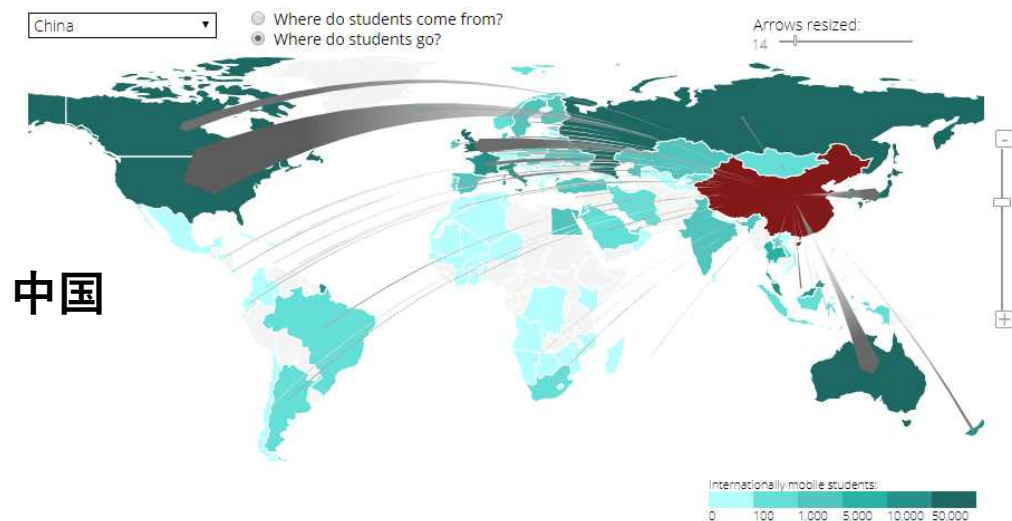


UNESCO

Opening Ceremony - Establishment of the National Information Center for Academic Recognition in Japan

Education
2030

モビリティと資格承認の現状



海外留学生数= 869,387
行先は?

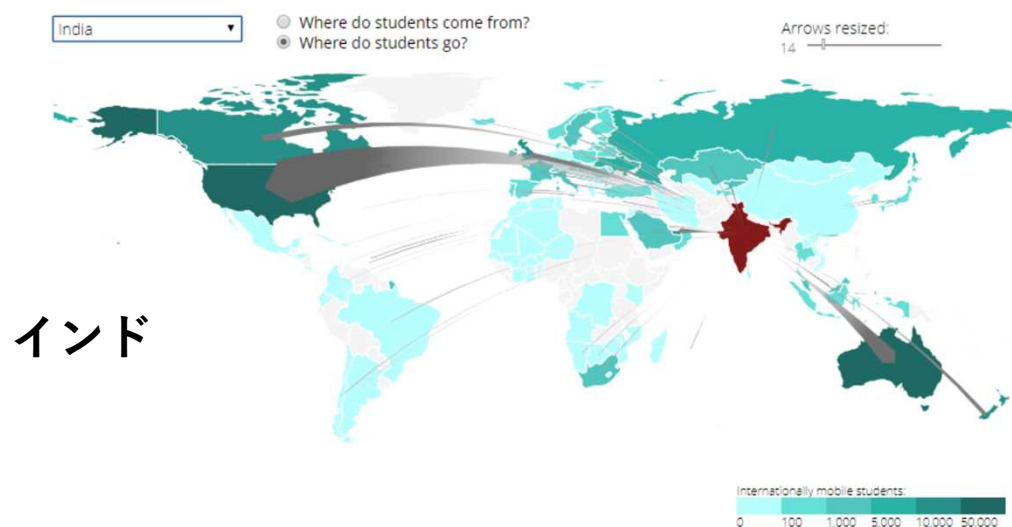
USA= 309,837 (36%)

Australia = 128498 (15%)

UK= 89318(10%)

Japan = 76,537 (9%)

Canada = 60,936 (7%)



海外留学生数= 305,970
行先は?

USA= 135,733(44%)

Australia = 51976 (17%)

Canada = 19,905 (7%)

UK= 16,655(5%)

UAE = 13,370 (4%)

Source: UIS

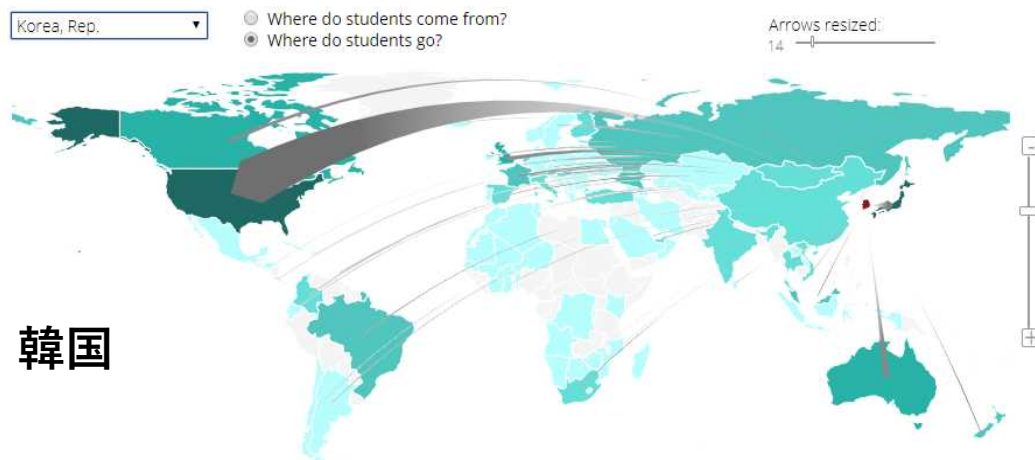


UNESCO

Opening Ceremony - Establishment of the National Information Center for Academic Recognition in Japan

Education
2030

モビリティと資格承認の現状



韓国

海外留学生数= 105,360

行先は?

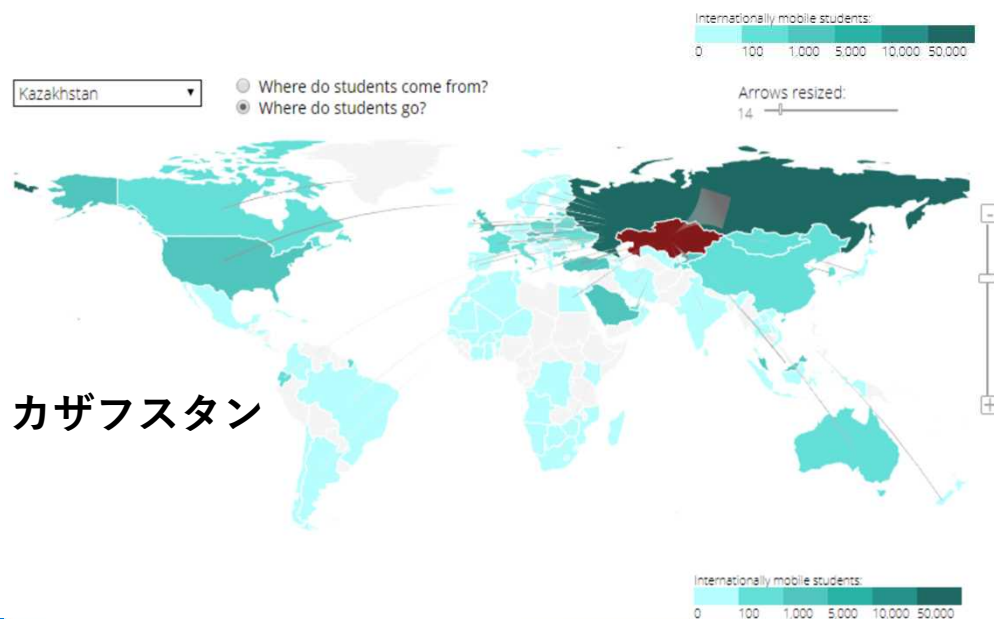
USA= 60,454 (57%)

Japan = 12,951 (12%)

Australia = 8,316 (8%)

UK= 5,024(5%)

Canada = 4,743 (5%)



カザフスタン

海外留学生数= 89505

行先は?

Russia= 69,895 (78%)

Kirgizstan= 4,907 (5.4%)

Turkey = 1,986 (2%)

USA = 1963 (2%)

UK= 1,545(2%)

Source: UIS



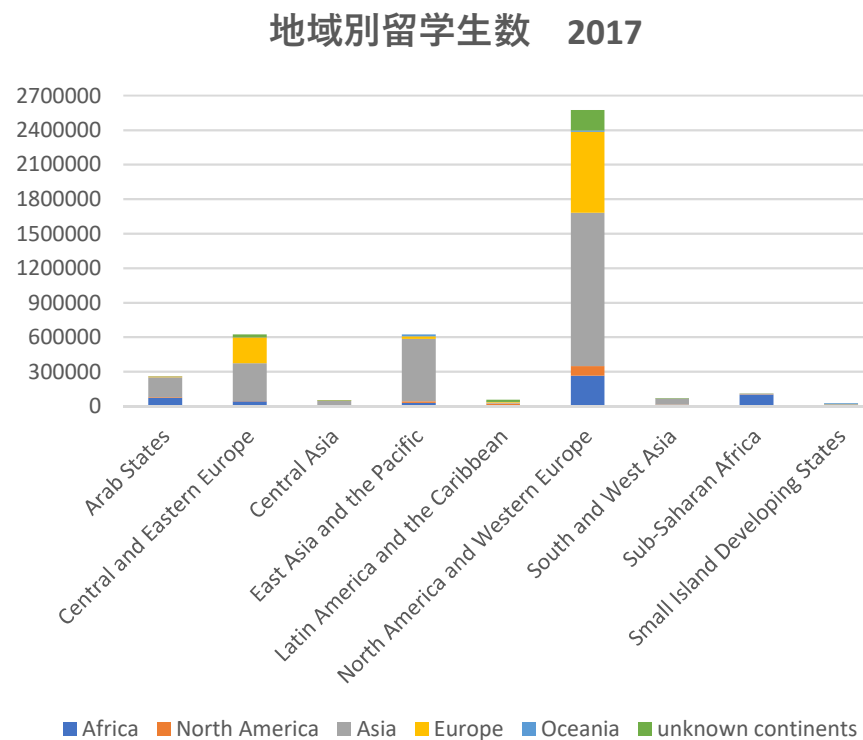
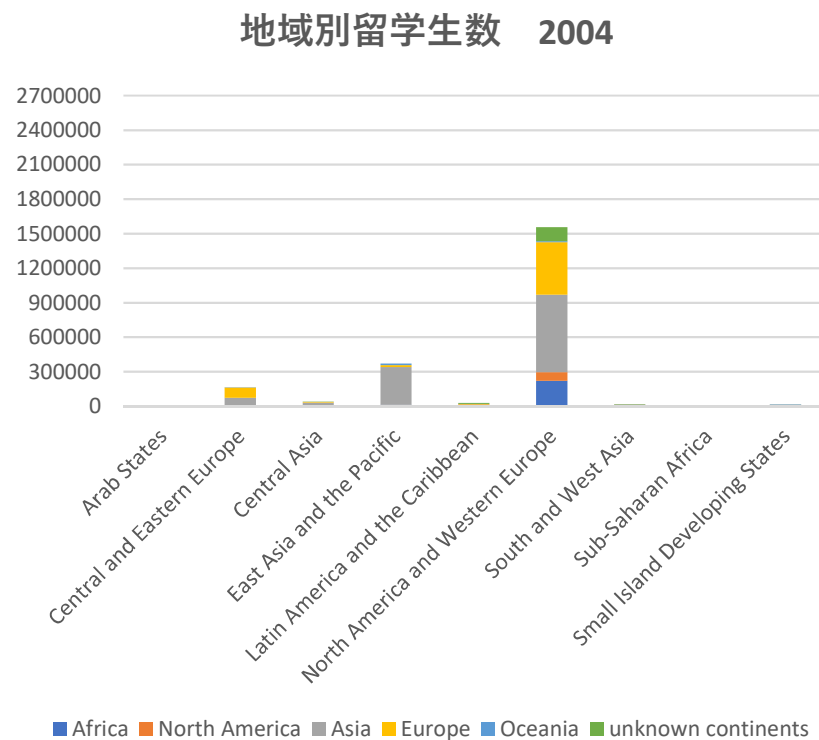
UNESCO

Opening Ceremony - Establishment of the National Information Center for Academic Recognition in Japan

Education
2030

モビリティと資格承認の現状

東アジアおよび太平洋地域への留学生(inbound)数の比較 (2004年と2017年) 約2倍に増加



Source: UIS

II.

東京規約の背景

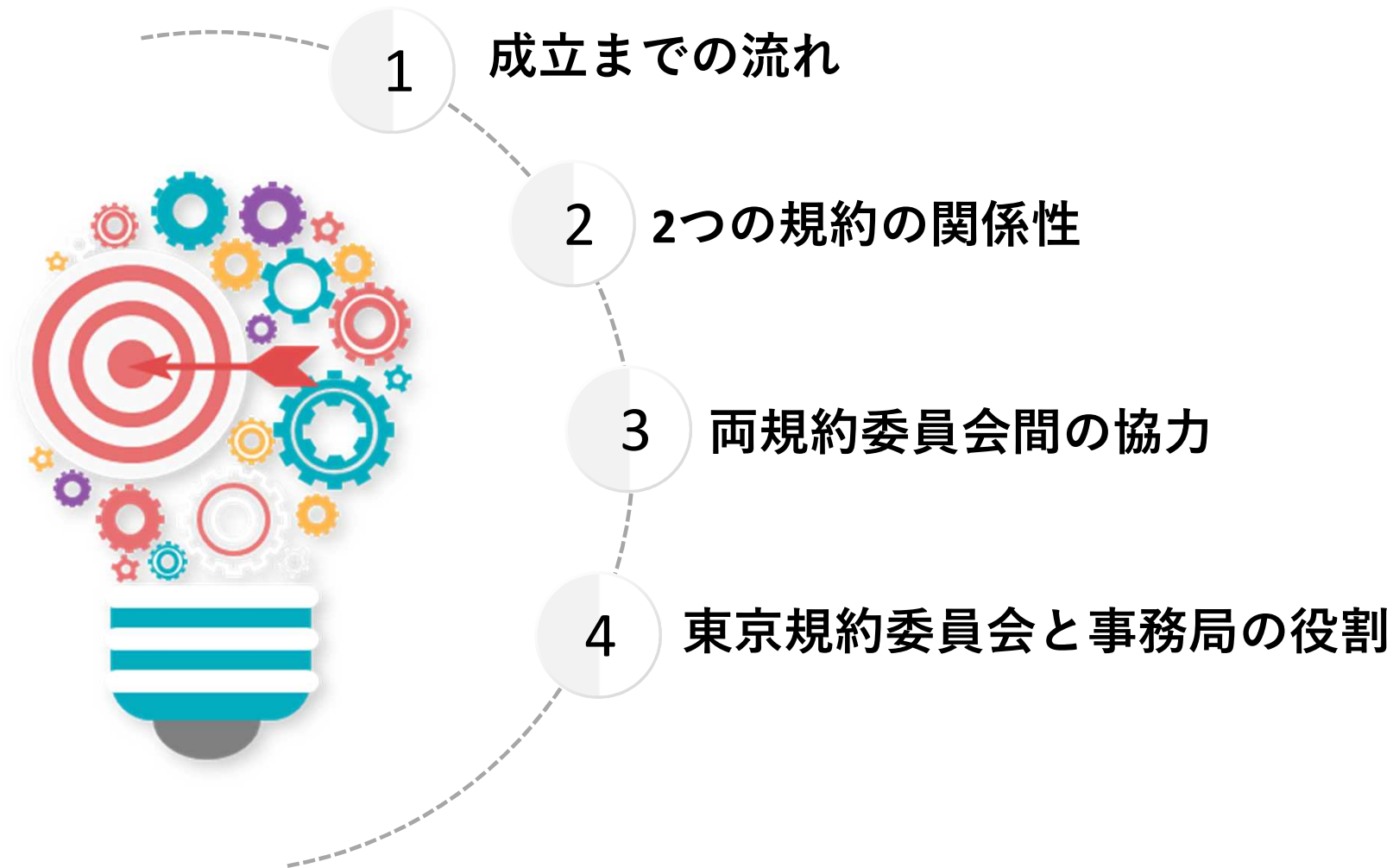


UNESCO

Opening Ceremony - Establishment of the National Information Center for Academic Recognition in Japan

Education
2030 

東京規約の背景



UNESCO

Opening Ceremony - Establishment of the National Information Center for Academic Recognition in Japan

Education
2030 

1983年規約（バンコク規約）

- 1970年代終わりから1980年代初めにかけて採択された、世界6地域の「高等教育の資格の承認に関する規約」のひとつ。
- バンコク規約委員会が規約の実施状況の進捗を監督し、促進する。

東京規約の背景

1983 バンコク規約（修学、修了証書及び学位の承認に関する規約）

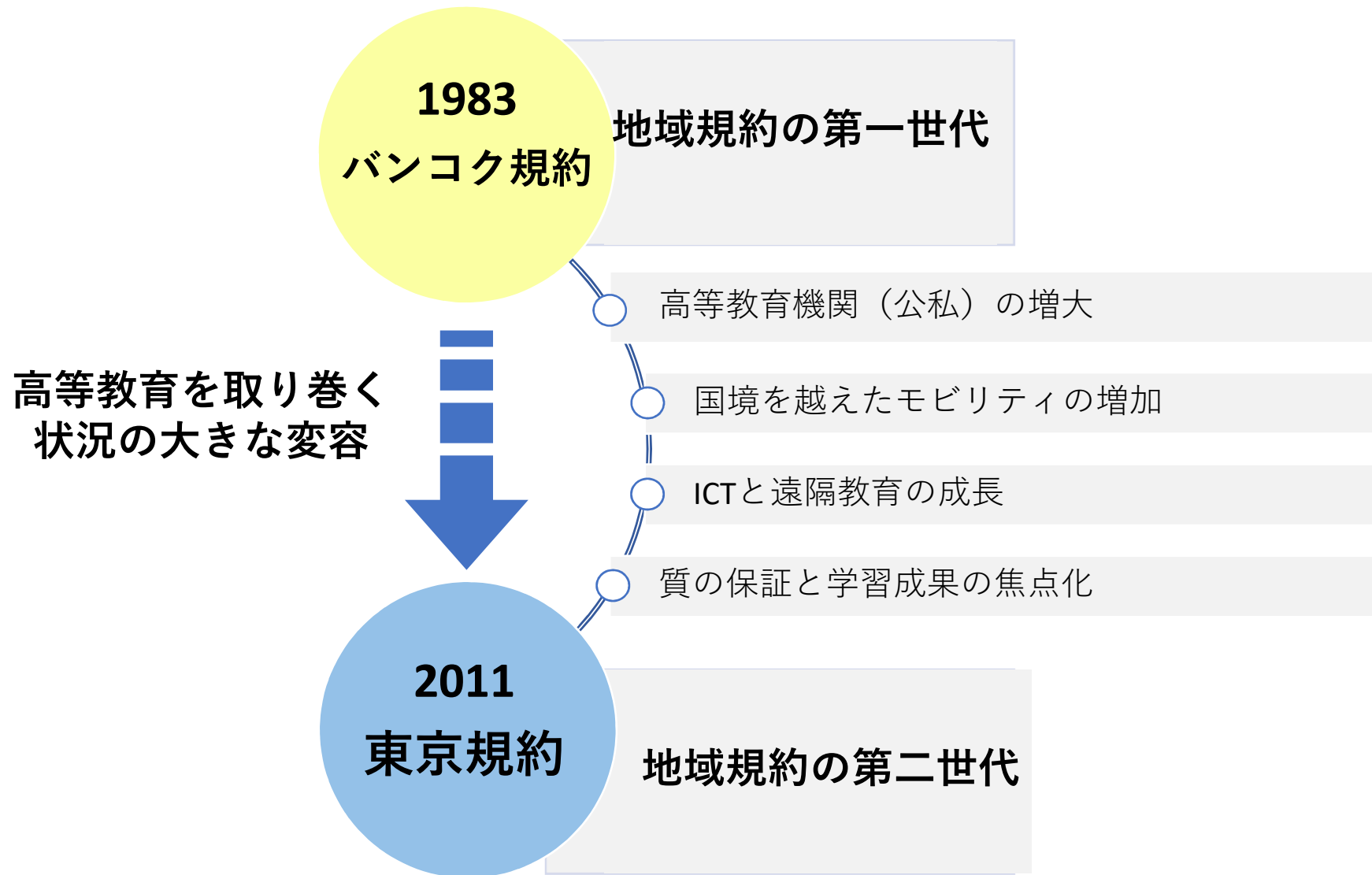
Regional Convention on the Recognition of Studies, Diplomas, and Degrees in Higher Education in Asia and the Pacific. Bangkok, 16 December 1983.¹

	States	Date of deposit of instrument	Type of instrument
1	China	25/09/1984	Approval
2	Australia	23/09/1985	Acceptance
3	Sri Lanka	10/01/1986	Acceptance
4	Turkey	28/04/1988	Ratification
5	Democratic People's Republic of Korea	26/04/1989	Approval
6	Republic of Korea	29/08/1989	Acceptance
7	Nepal	02/11/1989	Ratification
8	Maldives	14/05/1990	Acceptance
9	Russian Federation	16/11/1990	Ratification
10	Mongolia	19/10/1991	Acceptance
11	Tajikistan	28/08/1993	Notification of succession
12	Armenia	05/09/1993	Notification of succession
13	Azerbaijan	24/04/1995	Accession
14	Holy See	10/07/1995	Accession
15	Kyrgyzstan	07/11/1995	Notification of succession
16	Turkmenistan	04/06/1996	Notification of succession
17	Kazakhstan	14/03/1997	Notification of succession
18	India	02/08/2000	Ratification
19	Lao People's Democratic Republic	02/01/2003	Ratification
20	Philippines	26/11/2003	Ratification
21	Indonesia	30/01/2008	Ratification

¹This Convention entered into force on 23 October 1985. It subsequently entered into force for each State one month after the date of deposit of that State's instrument, except in cases of notifications of succession, where the entry into force occurred on the date on which the State assumed responsibility for conducting its international relations.



東京規約の背景



東京規約の背景

- 東京規約：2019年現在8締約国（多くの国が続くことが期待されている）

	States (by date)	署名日	締約形式
1	オーストラリア	17/07/2014	批准 (ratification)
2	中国	17/07/2014	承認 (approval)
3	ニュージーランド	01/08/2017	加入 (accession)
4	日本	06/12/2017	加入
5	韓国	19/12/2017	批准
6	バチカン市国	18/07/2018	批准
7	モンゴル	19/03/2019	承認
8	トルコ	03/04/2019	加入

Source: <http://www.unesco.org/eri/la/convention.asp?KO=48975&language=E>

東京規約の背景

情報に基づく評定と承認

- **情報に基づく承認の決定** (規約第3章3条)
- **すべての教育機関は**そこで取得された資格の評定を目的とする情報提供の合理的要請に応ずる(規約第3章3条の3)
- 締約国は、資格の承認を容易にするため、自国の教育制度に関する**適切かつ明確な情報**が提供されることを確保する。(規約第3章4条)

東京規約の背景

情報に基づく評定と承認

- 各締約国は、高等教育に関する国内情報センター(NIC)の設立及び維持のための適切な措置をとる。各センターの**形態は異なり得る**。(規約第8章3条)
- アジア太平洋地域のNICの能力形成の必要性

特徴は?



東京規約は、亞太地域の高等教育資格評定のために、**透明性が高く、公正で、共有される**規範を定める。



東京規約は、**信頼、相互理解、そして情報共有**により地域内のモビリティを奨励する。

東京規約の背景

地域内各国の利益： 締約国になることにより、



地域内での**モビリティ、雇用可能性、協力関係**の改善の責任を示せる。



より良い**情報共有、資格承認、そして質の保証評価**のための戦略につき、各国と足並みがそろろう。



公正で透明性の高い承認が奨励されることにより、国内外の資格のある学生と労働力、それによる**経済生産性の向上**が見込める。



UNESCO

Opening Ceremony - Establishment of the National Information Center for Academic Recognition in Japan

Education
2030

東京規約の背景

学生の利益



域内の**多様な高等教育機関**へのアクセスが容易になる。



規約の情報共有の原則により、**公正で透明性の高い評価**が保証される。



否定的な評価を留保する権利を与えられる事により、**公正さ**を担保し、いわれない**差別**に抗弁する助けとなる。



UNESCO

Opening Ceremony - Establishment of the National Information Center for Academic Recognition in Japan

Education
2030 

III.

東京規約の課題と可能性



UNESCO

Opening Ceremony - Establishment of the National Information Center for Academic Recognition in Japan



東京規約の課題と可能性



「モンゴルの市民が職業技術を改善し、彼らの学習と就労を継続するドアは開かれた」 – モンゴル教育省、バアタルビレグ大臣



UNESCO

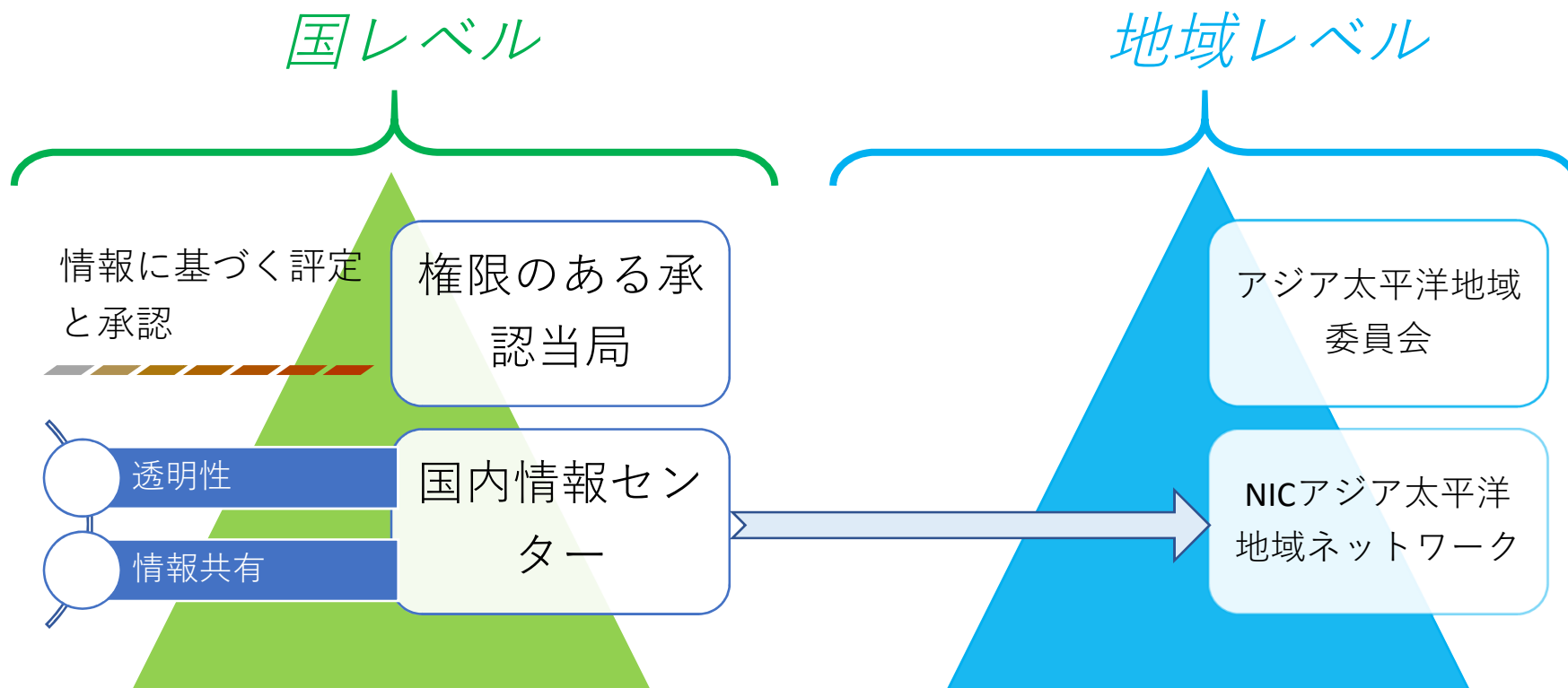
Opening Ceremony - Establishment of the National Information Center for Academic Recognition in Japan

Education
2030

東京規約の課題と可能性

課題

公正で透明性の高い承認のための国および地域レベルのメカニズムの連携



東京規約の課題と可能性

可能性

NICネットワークの役割の明確化

- モビリティと承認に焦点
- 権限のある承認当局による規約の一部執行を支持(第9章第3条の1)

優先順位決定のための年次会議

- 年一回の会議を開き、議長及び幹部を選出(第9章第3条の3)
- 東京規約委員会会合はNICネットワーク会議と連携して開催(Rule 3.3)

NICネットワークメンバーの指名

- 締約国はネットワークに加わる機関を指名する。
- 2機関以上指名可。但し投票権は一国一票。(第9章第3条の2)

運営事務局

- ユネスコDGの指名によりユネスコバンコク事務所 (第9章第3条の4)

政策の一貫性を高めるための機会

1. 質の保証だけではモビリティは促進されない。
2. 資格の枠組みだけではモビリティは促進されない。
3. 国際的な承認は、高等教育上のモビリティと国境を越えた雇用を促進するために、質の保証と資格の枠組みの両方を必要としている。それにより、アジア太平洋地域において自国の資格の承認が担保され、また、自国でアジア太平洋の資格を承認する助けとなる。

IV.

ユネスコの関連事業と展望



UNESCO

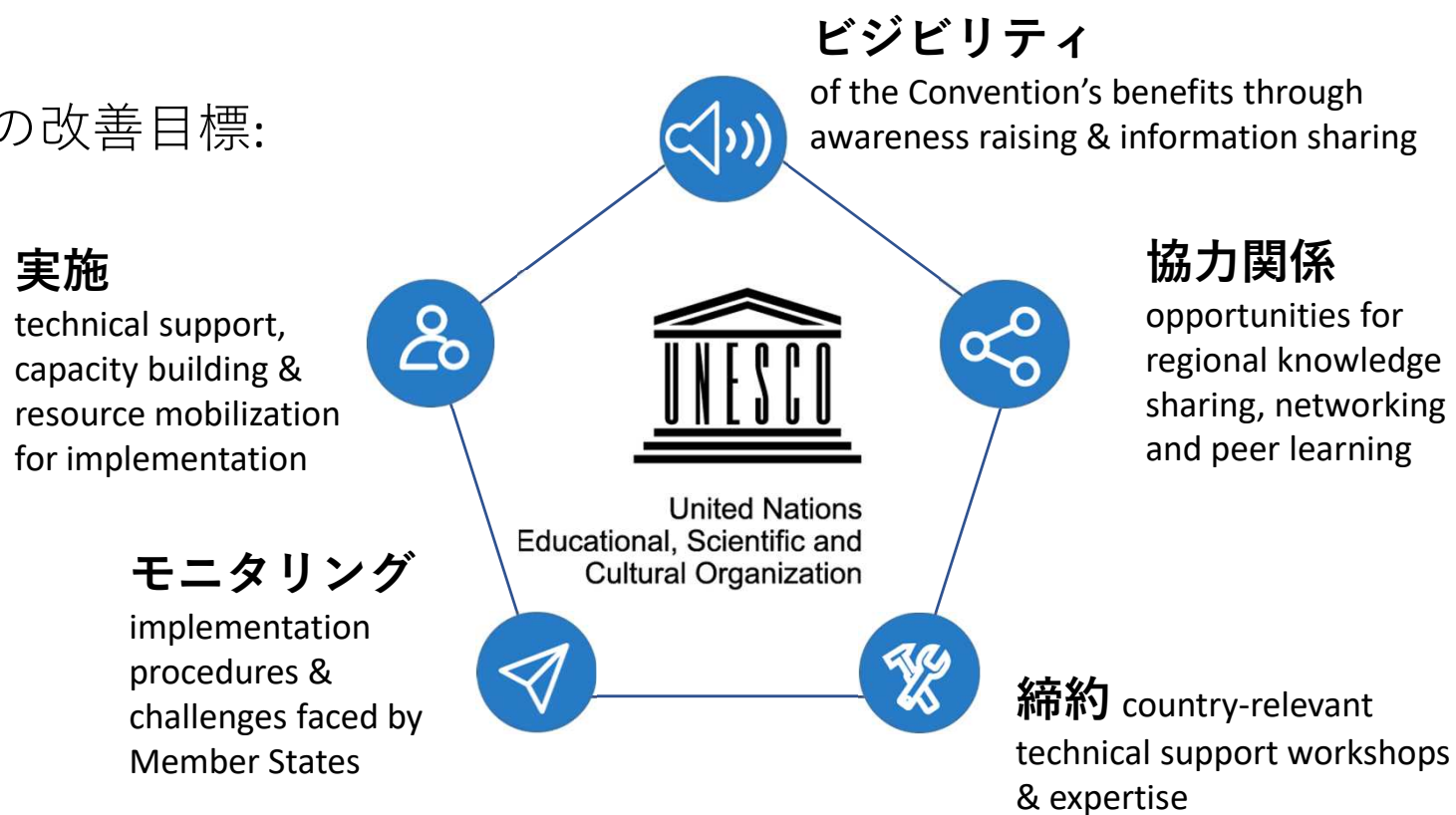
Opening Ceremony - Establishment of the National Information Center for Academic Recognition in Japan

Education
2030 

ユネスコの関連事業と展望

東京規約の狙いと展開：情報共有と質の保証の測定を通じアジア太平洋地域の高等教育の資格の承認とモビリティを促進すること。

事務局の改善目標:



ユネスコの関連事業と展望



2nd Regional Capacity Building Workshop

(第2回高等教育資格承認に関する能力形成地域ワークショップの開催 (2017年、北京))

成果：東京規約の締約と実施及び国内情報センター設置の振興について周知され、各国での機運が高まったこと。



UNESCO

Opening Ceremony - Establishment of the National Information Center for Academic Recognition in Japan

Education
2030

ユネスコの関連事業と展望



Meetings on Indicators for Internationalization of HE

(高等教育の国際化に係る指標に関する会議：東京大学等との共催：2016
– 2019)

高等教育の国際化の振興のために

- アジア太平洋地域における高等教育国際化の指標開発に関する政策と実践の現状把握とモニタリング
- 高等教育国際化の目標と領域の策定と包括的な指標の開発
(教育システム及び機関レベル)



ユネスコの関連事業と展望



Guidelines on Developing and Strengthening Qualifications Frameworks in Asia and the Pacific (Sept. 2018)

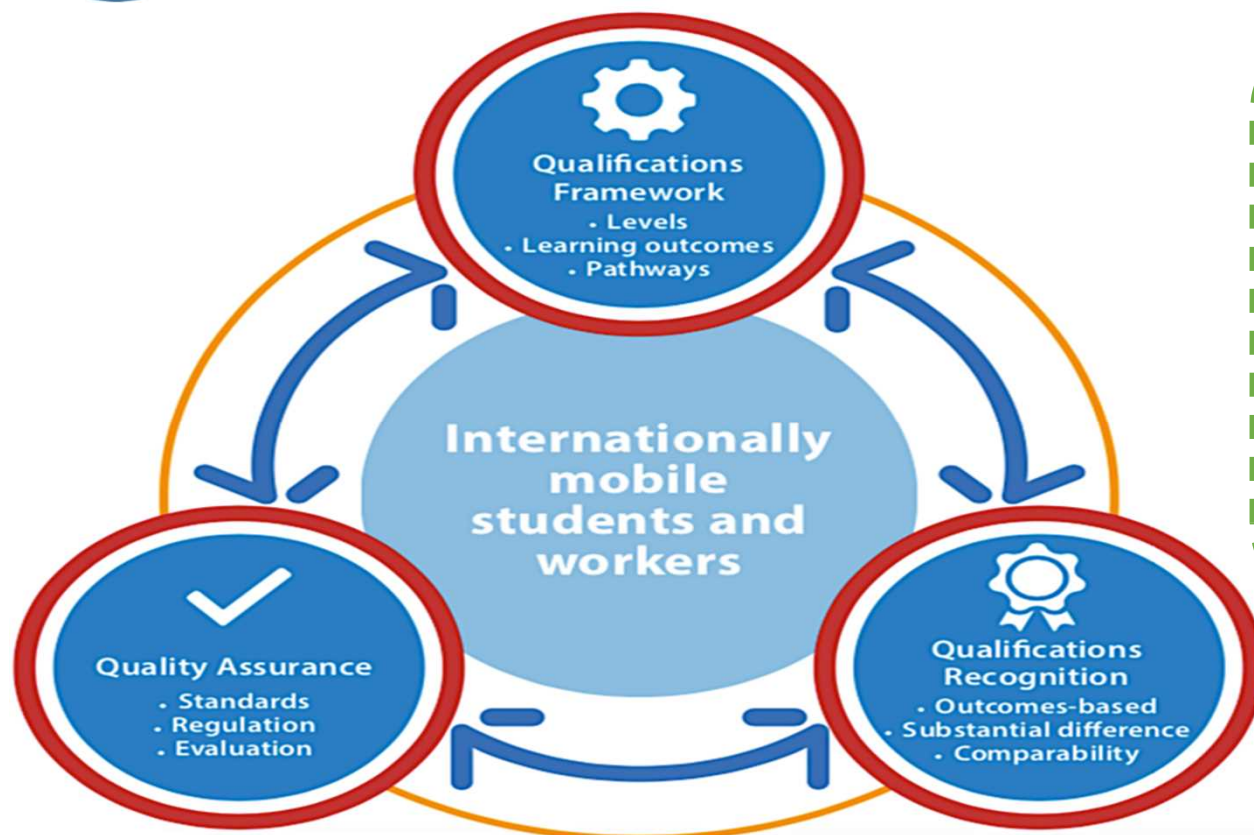


- アジア太平洋地域資格フレームワークの開発と強化に向けての指針
- 国家資格フレームワーク(NQF)は異なった教育機関の責任共有の文化を形成する手段となりうる。
- 国家資格フレームワーク、資格の質の保証、そして資格承認に対する総合的なアプローチが、国を超えたモビリティと雇用の振興に資する。

ユネスコの関連事業と展望



資格フレームワークと質の保証と資格承認への総合的アプローチ：東京規約の適正な実施に向けて



国家資格
フレームワーク：

NQFは資格の国際
資格承認への近道
ではなく、資格の
質の保証への確答
でもない。

Source: UNESCO Bangkok (2018). *Guidelines on Developing and Strengthening Qualifications Frameworks in Asia and the Pacific - Building a Culture of Shared Responsibility*. <https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000265652>



UNESCO

Opening Ceremony - Establishment of the National Information Center for Academic Recognition in Japan

Education
2030

ユネスコの関連事業と展望



Regional Conference on Quality Assurance of Higher Education (高等教育の質の保証に関する地域会議) (June 2017, Shenzhen)

- 質の保証に関する政策と実施の分野での各国間協力関係の強化
- 高等教育資格の (1) 質の保証、 (2) 国家フレームワーク、 (3) 承認の連携に関する理解の深化
- 東京規約締約に向けての技術支援の強化

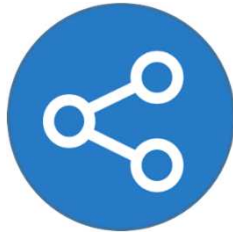


UNESCO

Opening Ceremony - Establishment of the National Information Center for Academic Recognition in Japan

Education
2030 

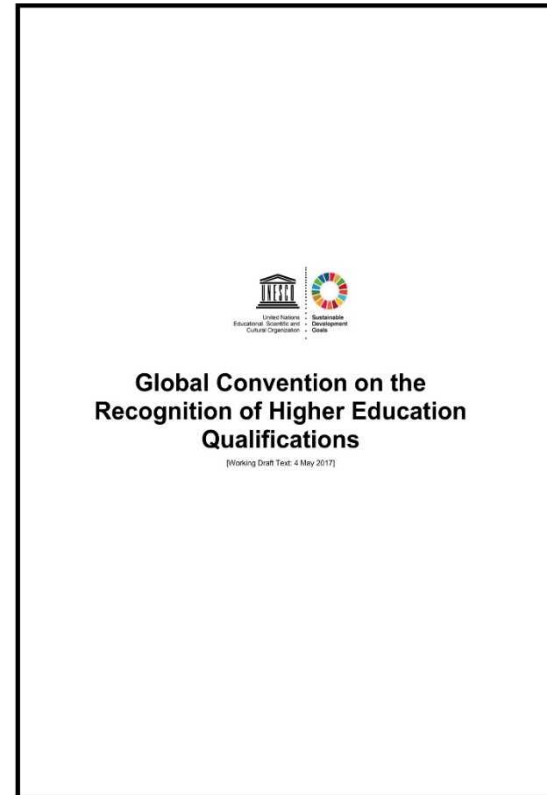
ユネスコの関連事業と展望



Preparations for the forthcoming Global Convention (世界規約採択に向けての準備)

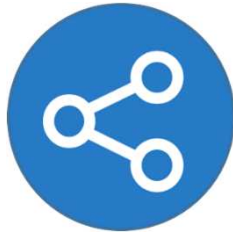
(November 2019, Paris)

- 公正でオープンな資格承認は人類の普遍的な権利
- 承認過程の国際的一貫性
- 地域を超えた承認の推奨
- 承認を通じた高等教育の質の向上
- 承認の重要性の認知度の向上



高等教育の資格承認に関する世界規約

UNESCO's programme and future perspective



Ministerial Meeting on Inclusion and Mobility in Higher Education (高等教育における包括とモビリティに関する大臣会議)

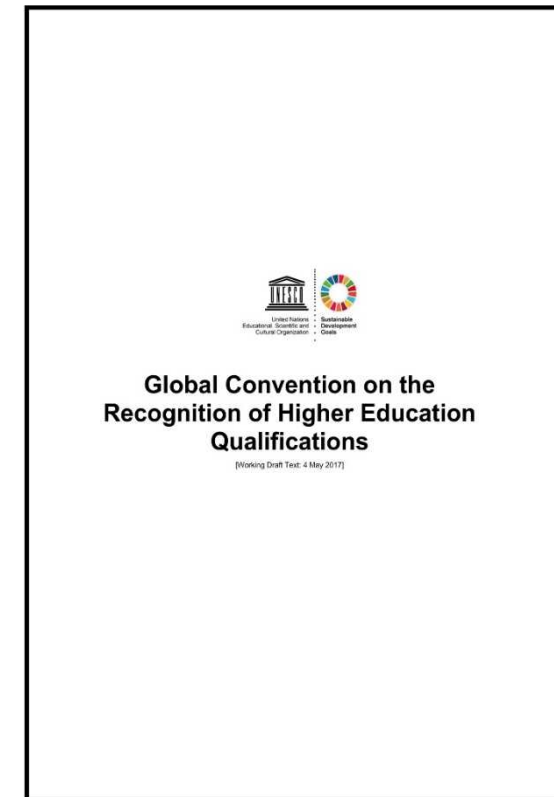
40th UNESCO General Conference 2019
(13 November 2019 in Paris, France)

期待される成果

高等教育において更にインクルージョンを進めること、

また、学位・資格の承認を世界規約の締約を含め奨励することについて

政策立案者や高等教育機関に行動を呼びかけること。



高等教育の資格承認に関する世界規約

ユネスコの関連事業と展望

第2回東京規約委員会会合の開催：第16回バンコク規約委員会会合
及びNICネットワーク立ち上げワークショップとの併催
(2019年9月19-20日、バンコク)



Bangkok Office
Asia and Pacific Regional Bureau
for Education

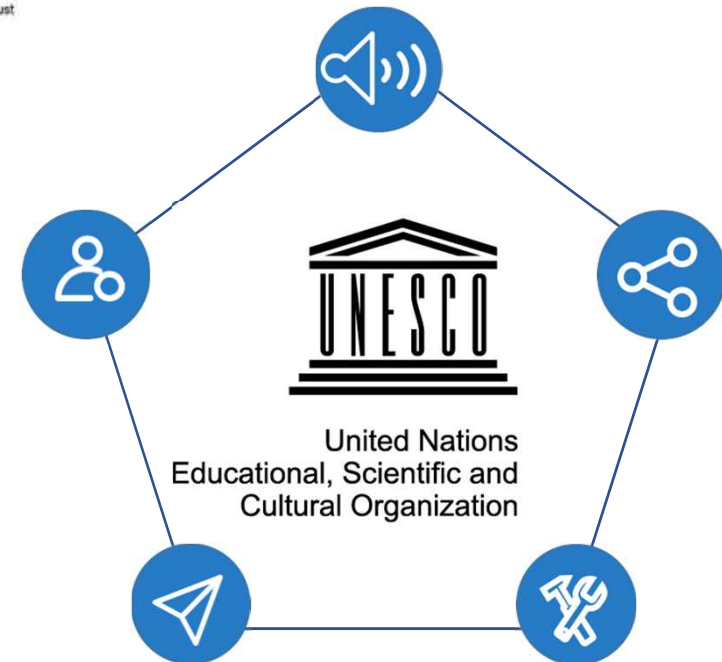


Second Session of the Committee of the Asia-Pacific Regional
Convention on the Recognition of Qualifications in
Higher Education
(The Tokyo Convention Committee)

In conjunction with the

Sixteenth Session of the 1983 Convention Committee and the
Regional Workshop on Launching the
Asia-Pacific Network of National Information Centres

CONCEPT NOTE

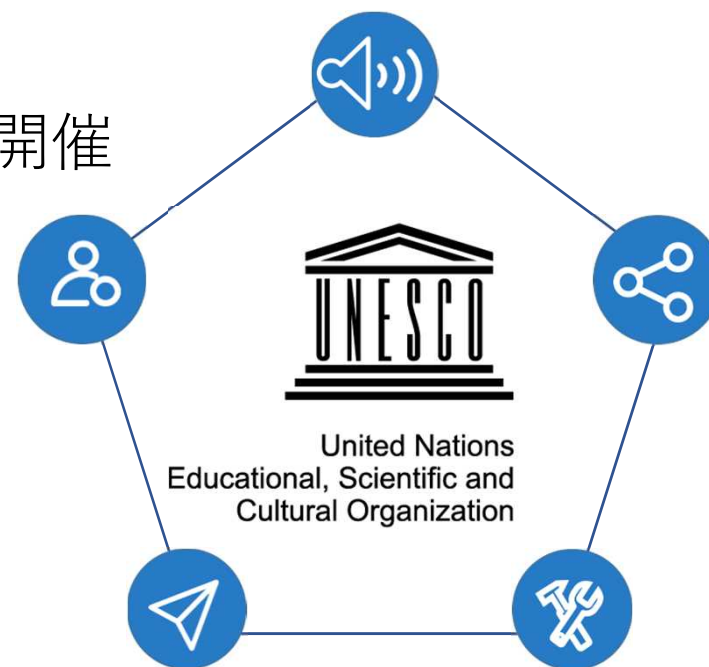


ユネスコの関連事業と展望

2020年に向けて:

ユネスコバンコク事務所内の東京規約事務局

- 東京規約の実施支援
- 締約国の増加の努力
- 第3回東京規約委員会会合の準備と開催



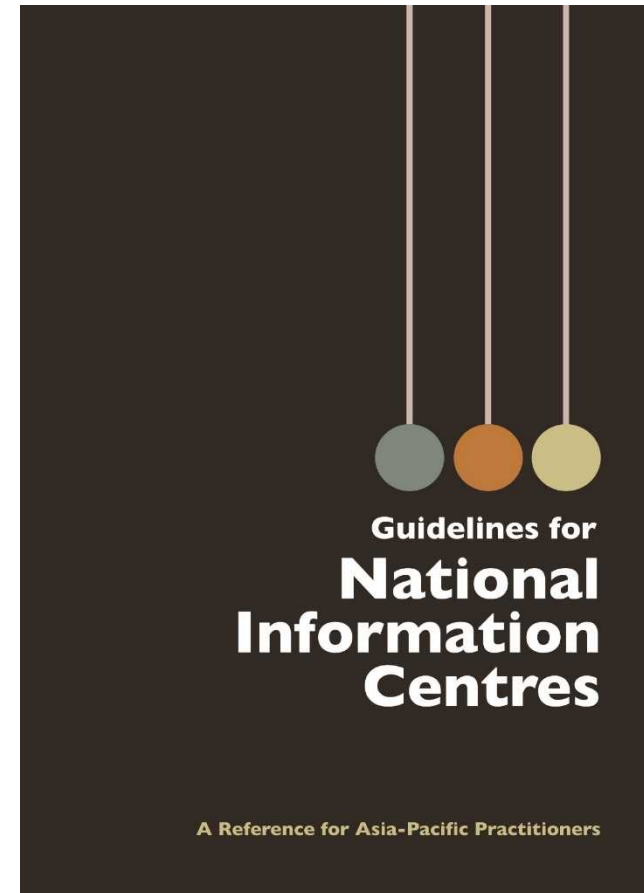
V.

情報センターへの期待とアジア太平洋 地域ネットワーク

情報センターへの期待とアジア太平洋地域ネットワーク

国内情報センター(NICs):

- ・ 高等教育システムと資格に関する情報の提供の**唯一のコンタクト**
- ・ すべての基本情報の**ワンストップセンター**
- ・ NICの**組織形態、事業範囲、事業実施**は締約国によって定められる。
- ・ これらにつき重複を避けるためできるだけ既存の機関や活動を活用する。
- ・ **関係省庁内や高等教育機関の一部局**がその役目を負うことも可能



情報センターへの期待とアジア太平洋地域ネットワーク

締約国からの必要な情報:

- ・ 高等教育システムの記述
- ・ 高等教育システムに属する異なったタイプの高等教育機関の概観とそれぞれの機関の属性
- ・ 承認あるいは認定された公的、私的高等教育機関のリスト
- ・ 質の保証の制度に関する説明
- ・ 自国の領土外にあり、かつ締約国が自国の教育システムに属すると考える教育機関のリスト

NIC と権限のある承認当局（CRA）：

- ・ NICは権限のある承認当局が承認に関する決定を速やかに行えるよう信頼できる最新の情報を提供する。
- ・ 承認当局の役割は政府機関あるいは独立した高等教育機関が担える。
- ・ **NIC**は有料で利用者に資格評定サービスを提供することができる。

アジア太平洋NICネットワーク: 重要な規約の実施ツール

- 高等教育上の移動及び学術上の承認に関する国内情報センターのネットワークを設立する。同ネットワークは、権限のある承認当局によるこの規約の実際的な実施を支持し、及び支援する。(第9章第3条)
- バンコク規約のもとで作られたAPARNET (Asia Pacific Academic Recognition Network) は財源不足のために十分に機能せず。
- 東京規約のもとでNICネットワークをホストする地域ポータルが開発が期待される。

今後の検討課題

- NICの設置場所：関係省庁内に置くのか、その他の機関におくのか。
- NICの役割：情報の収集・提供だけではなく、情報の作り手としての役割。NICスタッフのリサーチャーとしての機能
- NICの他機関との協力：質の保証と国内資格の枠組みの担当当局と研究機関との連携
- NICのポータルサイト：他のすべての関係サイトの入り口となる統合的なサイトの開発

VI.

結び



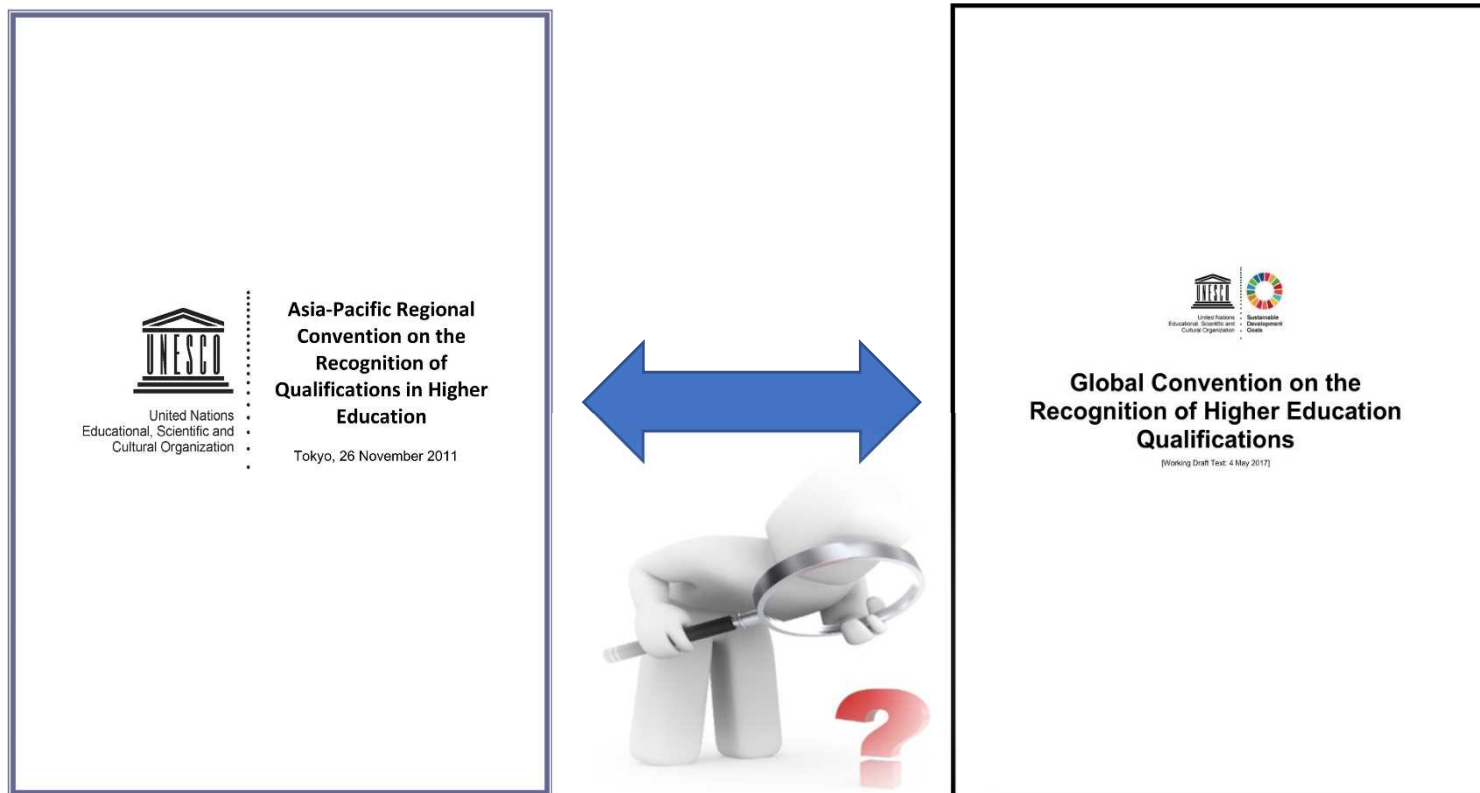
UNESCO

Opening Ceremony - Establishment of the National Information Center for Academic Recognition in Japan

Education
2030 

結び

アジア太平洋地域規約委員会と世界規約委員会の強い協力関係の構築



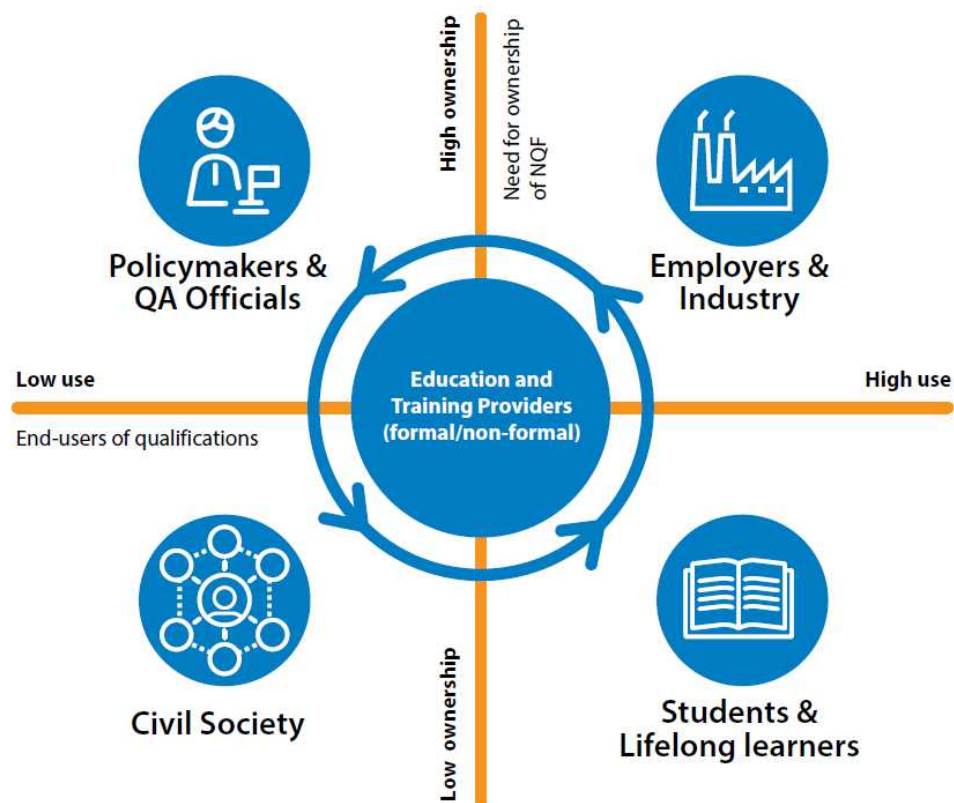
東京規約

世界規約

結び

分野をまたいだ様々な機関との協力関係の強化

高等教育の資格の妥当性と承認



Source: Wang, L. & Teter, W. (2018). Guidelines on Developing and Strengthening Qualifications Frameworks in Asia and the Pacific – Building a Culture of Shared Responsibility. Bangkok: UNESCO Bangkok.

結び

東京規約実施のためのアジア太平洋地域の歩み

ソウル声明(2018):

- 強い**NICネットワーク**の設立
- 質の保証と学習成果に基づく**承認政策と実施**
- 地域レベルでの**質の保証システム**の確立
- 国境を越えたモビリティプログラムの連携と協働
- **ICT** が変えていく高等教育



**Adopted at the First Session of the Committee of the Tokyo Convention
in Seoul, Republic of Korea, 18 October 2018**

高等教育資格承認情報センターの設立

大学改革支援・学位授与機構の役割に沿った:

1. 日本の教育制度及び高等教育機関リストの提供
2. 東京規約締結国等海外の教育情報の提供
3. 国際連携：海外NICとの協力
4. ユネスコや締約国との協力による研究活動の実施

Sources: Adapted from <https://www.niad.ac.jp/english/news/en2019/entry-3784.html> and http://www.niad.ac.jp/media/002/201702/eng_leaflet.pdf



結び - Bring the Tokyo Convention 'Home' to Japan in 2020

第3回東京規約委員会会合の2020年日本での開催の検討



新たな時代へ：アジア太平洋地域高等教育の国際化とモビリティ

Thank you

*UNESCO and the entire UN System will join you on this journey to **ensure inclusive and equitable quality education and lifelong learning opportunities for all***

Contact UNESCO Bangkok's higher education unit via: eisd.bgk@unesco.org

Learn more: www.unesco.org/education

 @UNESCO